

三輪田米山生誕二百年記念事業 実施報告書

伊予の国には、未来を酔わせる書の神様がいました

三輪田米山

生誕二百年

祝賀

酒と書を愛しつづけた三輪田米山。みわだべいざん

その自由奔放な「酔筆」で書かれた「ことば」は、

時を超えて私たちを魅了し、

酔わせる力をもっています。

生誕二百年という記念の年に、

米山が私たちのまちに遺した宝を伝え、

未来に受け継いでいきます。



地域に愛された書家 三輪田米山(1821～1908)



文政四年、日尾八幡神社の神官三輪田清敏の長男として誕生。本名は常貞。後に神主となる。

王羲之を初めとする書の古典に深く学び、独自の書風を作り上げた。

松山市周辺の神社の注連石等に数多くの文字が刻まれている。

また、嘉永元年から毎日日記を書き続け、その数は300冊を超えられている。その記録は、当時のまちの出来事、気候などを知る上でとても貴重な資料となっている。

生誕二百年記念事業

■期間：令和3年2月～12月

■目的：ふるさと松山の偉人「三輪田米山」の顕彰を行うことで、シビックプライドの向上や文化振興につなげる。

■実行委員会：愛媛大学(俳句・書文化研究センター)、松山市、松山市教育委員会、松山観光コンベンション協会、松山市文化・スポーツ振興財団で構成
【オブザーバー】

愛媛県美術館、日本絵手紙協会

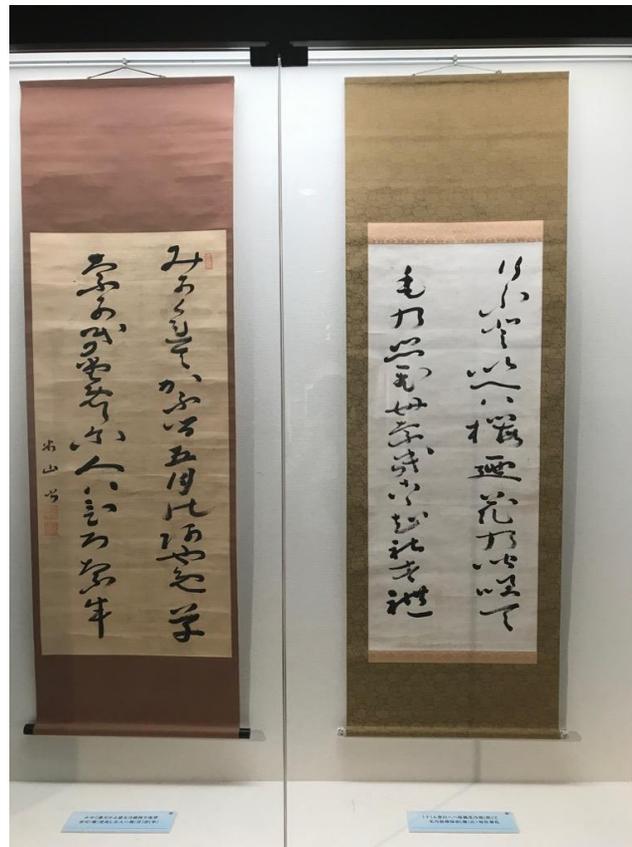
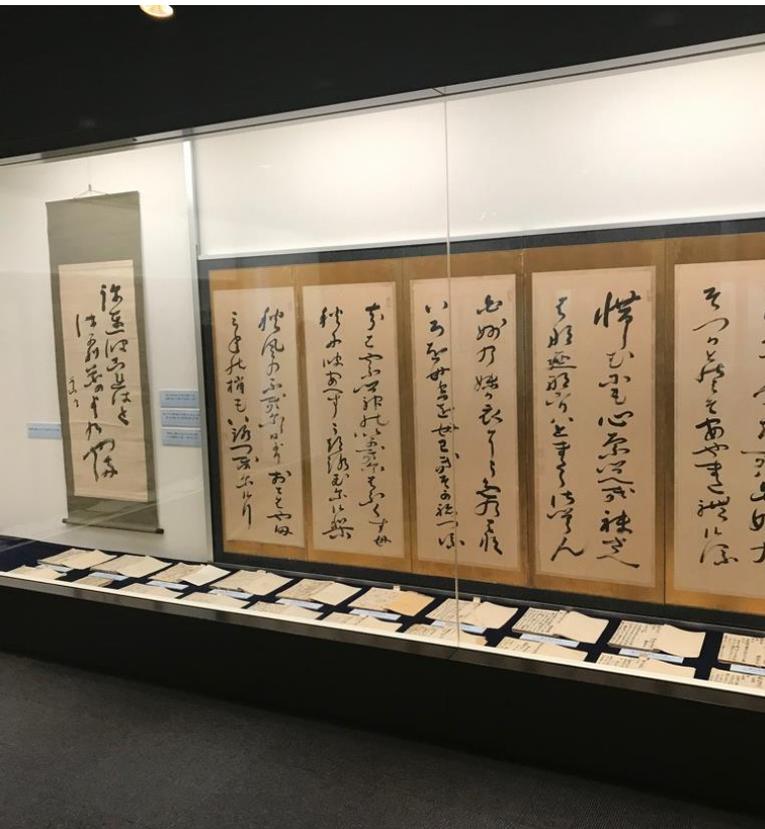
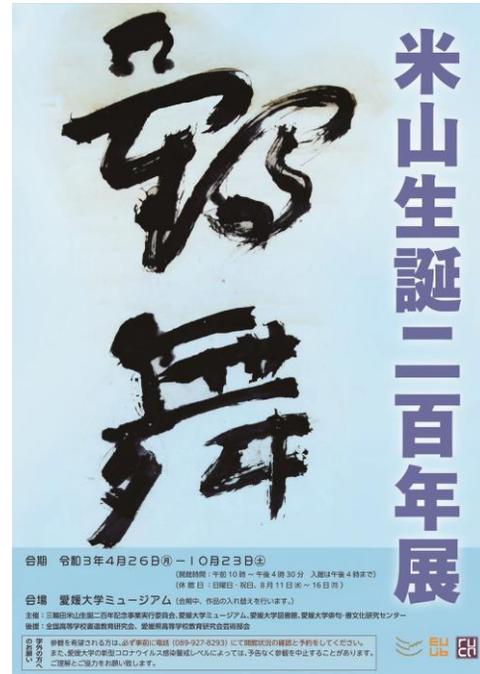


人々を魅了する三輪田米山

(1) 愛媛大学ミュージアム企画展示

【米山生誕二百年展】

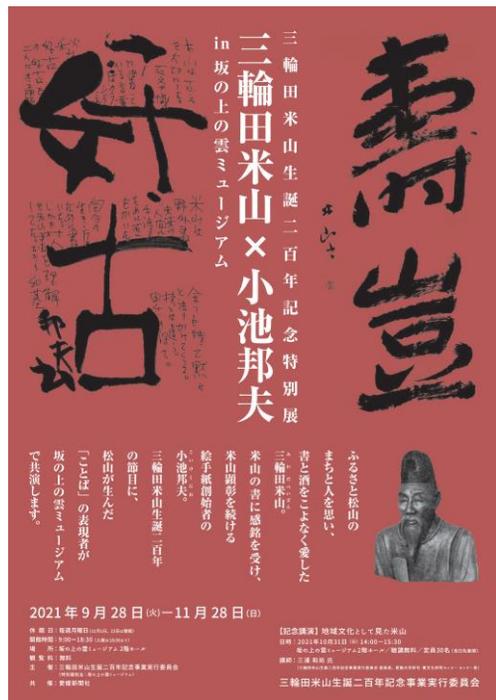
- 会期：
令和3年4月26日（月）～10月23日（土）
- 会場：
愛媛大学ミュージアム
- 内容：
愛大蔵「米山日記」207冊と、
初公開作品を含む肉筆書を展示。



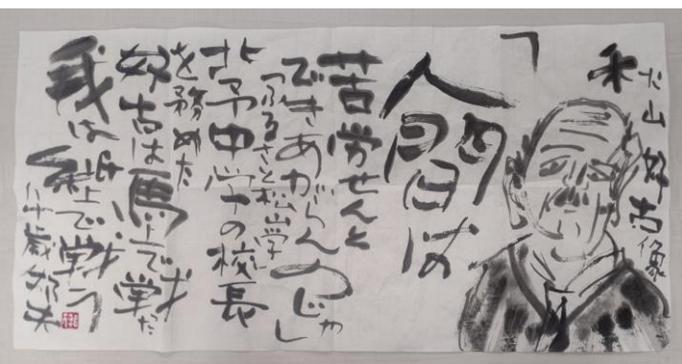
(2) 三輪田米山生誕二百年記念特別展 「三輪田米山×小池邦夫 in 坂の上の雲ミュージアム」

- 会期：
令和3年10月1日（金）～11月28日（日）
- 会場：
坂の上の雲ミュージアム 2階ホール
- 内容：
米山の足跡や作品をはじめ、米山の書に感銘を受け、米山顕彰を続ける絵手紙作家・小池邦夫氏の活動を紹介。
- 期間中の入館者数：約13,000人

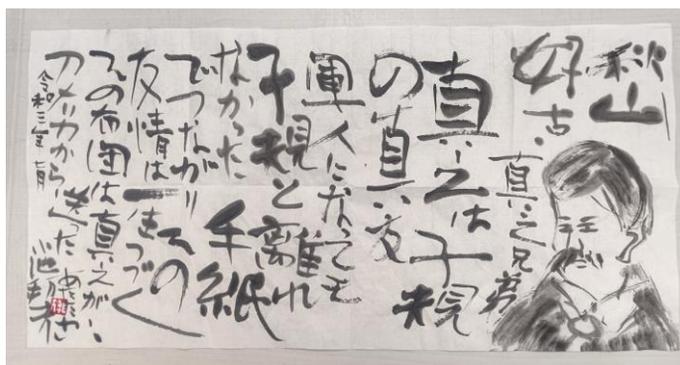
【展示の様子】



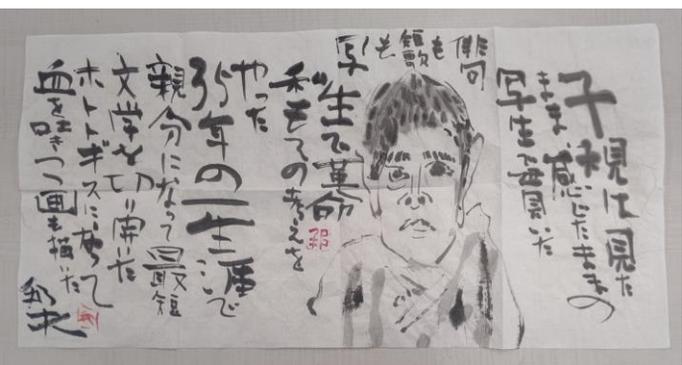
【小池邦夫氏 新作4点】



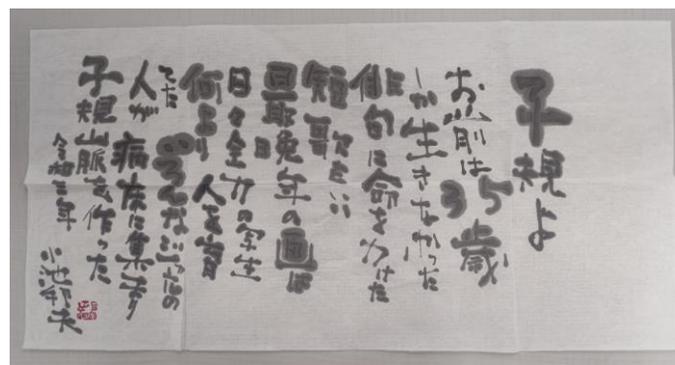
「秋山好古」



「秋山真之」



「正岡子規 1」



「正岡子規 2」

【記念講演】

■日時：令和3年10月31日（日）14:00～15:30

■演題：地域文化として見た米山

■講師：三浦和尚

（三輪田米山生誕二百年記念事業実行委員会委員長、
愛媛大学俳句・書文化研究センターセンター長）



(3) 俳句と書のコンクール 「筆で書く五七五」

■ 募集期間：

令和3年7月21日（水）～9月17日（金）

■ 募集内容：

松山市内の小学生、中学生が自作の俳句を自筆の書で表現した作品を募集

■ 応募点数：

小学生2,315点、中学生1,642点、合計3,957点

■ 受賞作品展示：

① 坂の上の雲ミュージアム 2階ホール

令和3年11月28日（日）～12月3日（金）

② 子規記念博物館1階ロビー

令和3年12月8日（水）～12月27日（月）

■ 審査員

- ・ 三浦和尚
- ・ 夏井いつき（俳人）
- ・ 東賢司（愛媛大学教育学部教授）
- ・ 青木亮人（愛媛大学教育学部准教授）
- ・ 山下和美（愛媛県書写教育協議会会長）

【表彰式の様子】



【受賞者】



【トークイベント】

表彰式終了後には、三浦委員長と、審査員の俳都松山大使 夏井いつきさんが書と俳句の立場から応募作品について語るトークイベントを開催。



【展示の様子】



(坂の上の雲ミュージアム)



(子規記念博物館)

【受賞作品一覧 小学生の部】

賞	学年	俳句	名前	学校名
最優秀	1	シュートしたぼくのみぎあしなつのあさ	池見 秀翔	久枝
金賞	5	扇風機ふせんがゆれる課題図書	吉野 ひかり	桑原
	4	米山の文字いきいきと日の盛り	原田 泰輔	愛大附属
銀賞	2	弟のぽっちゃりほっぺにスイカ種	藤淵 悠玄	宮前
	5	ふかふかと空見てうかぶ夏の川	楠橋 芙弥	清水
	6	朝焼けやよごれた日記読み返す	徳永 碧葉	正岡
佳作	4	春風に追され葉っぱが走り出す	武田 優空	生石
	1	うくらいなのこっきおぼえたなつによる	土井 瑛介	味酒
	6	蟬時雨鳥獣戯画の卵も動く	浦辻 弥琴	愛大附属
	1	ごわごわのたまごかまきりうまれたよ	志摩 要	潮見
	3	おしろ山入道雲をせおってる	山田 実歩	生石
	4	きそいあうアルトホルンとせみの声	鈴木 咲子	湯築
	6	伊予灘に手を振る親子夏木立	清水 倅菜	石井北
	6	愛犬に教えてもらおう川涼し	岡本 紬希	石井北
	5	かぶりつくすいかのおくに祖父の顔	松田 結菜	道後
5	消えそうなにじを見たのは私だけ	鶴田 いろは	余土	

【受賞作品一覧 中学生の部】

賞	学年	俳句	名前	学校名
最優秀	1	カメラ追う勝ち越し二壘打雲の峰	上松 勇輝	三津浜
金賞	3	日焼けの手比べて祖父の笑い皺	桑原 菜々子	余土
	2	静けさと小説を読む夏の夜	大井 萌々華	勝山
銀賞	1	人しずかやみに満開の花あかり	吉田 真央	東
	2	部活後の蜂蜜レモン夏の風	兵頭 知駿	愛大附属
	2	アブラゼミ人差し指にすがりつく	西山 美稀	余土
佳作	2	宮仰ぐ石段数えてあげひばり	宗藤 果鈴	愛大附属
	2	登校と蟻の整列並び合う	山田 モナ	城西
	3	夏の空土で汚れたユニフォーム	松崎 暖花	西
	1	空の下大の字で聞く虫の音	井川 絢愛	津田
	2	薄闇の海をたゆたう海月かな	中野 文音	東
	1	日盛りに揺らぐ二つの影法師	宮澤 明日香	愛大附属
	1	大空へ命吹き込む雲の峰	中野 眞由	愛大附属
	3	友達と自転車で追う夏の影	正木 陽菜	愛大附属
	3	夕暮れの心を映す月見草	武井 月那	東
	2	泣く私カブトムシにビンタされ	渡辺 心海	津田

【受賞作品一覧 審査員特別賞】

賞	学年	俳句	名前	学校名
三浦和尚賞	小3	街中を丸洗いして雷雨去る	杉原 佑	新玉
	中2	宿題と鬼ごっこする夏休み	村上 明理	勝山
	中3	炎天下クラリネットに白布巻く	久保 愛華	西
夏井いつき賞	小4	ほうたいのとれてはじまる夏休み	土井 湊太	味酒
	小6	蝉がなくえんたいごうのかげのなか	矢野 義虎	石井北
	中3	ユニフォーム戻れぬ夏のおいする	鎌田 凌也	雄新
東賢司賞	小1	「ただいま」とてあらい・うがい かきごおり	大澤 侑生	番町
	小5	あさがおが色とりどりにさく野原	森 知星	湯山
	小6	散歩道蝉の抜けがら夏終わる	檜垣 みずき	味生
青木亮人賞	小1	まっくらだはなびのひかりままのかお	平岡 真理	久枝
	小5	夕月夜解答用紙ほぼ白紙	越智 彬仁	味酒
	中2	雨あがりしずく一滴くもの巣に	浪下 萱太	勝山
山下和美賞	小2	せみのこえあついあついときこえるよ	村田 絢香	和気
	小6	合図する雨が止んだとせみの声	一柳 瑞希	東雲
	中3	夏休み夢の中でも猛勉強	田中 葵	南

(4) 掲載媒体等

- ◆子規博だより（令和2年12月25日）
三浦委員長寄稿「三輪田米山生誕二百年に寄せて」
- ◆坂の上のラジオ（令和3年12月25日）三浦委員長出演
- ◆愛媛新聞（令和3年3月23日）「米山生誕二百年で顕彰事業実施へ」
- ◆坂の上の雲ミュージアム通信「小日本」（令和3年4月（春号））
「人間書道」米山生誕二百年に寄せて
- ◆広報まつやま（令和3年5月1日号）三輪田米山生誕二百年記念事業を実施
- ◆情報ポータルサイト「まいふれ」（令和3年8月）
「俳句と書のコンクール」作品募集
- ◆広報まつやま（令和3年7月15日号）「俳句と書のコンクール」作品募集
- ◆ウィークリーえひめリック（令和3年8月6日号）
「俳句と書のコンクール」作品募集
- ◆リビングまつやま（令和3年8月6日号）「俳句と書のコンクール」作品募集
- ◆広報まつやま（令和3年9月15日号）米山生誕二百年特別展開催
- ◆読売新聞夕刊（令和3年9月17日）「書の景色」記事内で米山と記念事業の紹介
- ◆広報まつやま（令和3年10月1日号）愛媛大学で記念シンポジウムを開催
- ◆愛媛新聞（令和3年10月2日）生誕二百年米山の書深掘り
- ◆愛媛新聞（令和3年11月30日）筆で表現 五七五
- ◆文化情報松山きらめき（令和3年秋号vol.97）三輪田米山生誕二百歳
- ◆広報まつやま（令和4年1月15日号）「俳句と書のコンクール」表彰式を開催